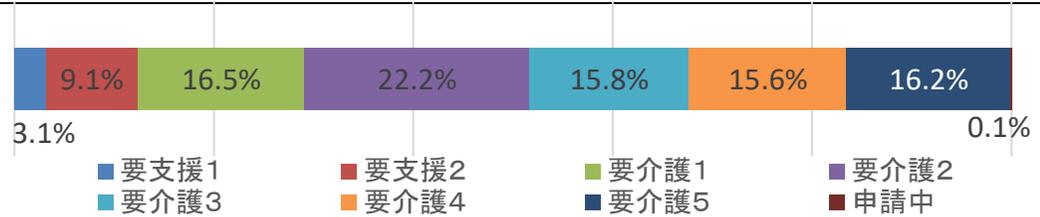


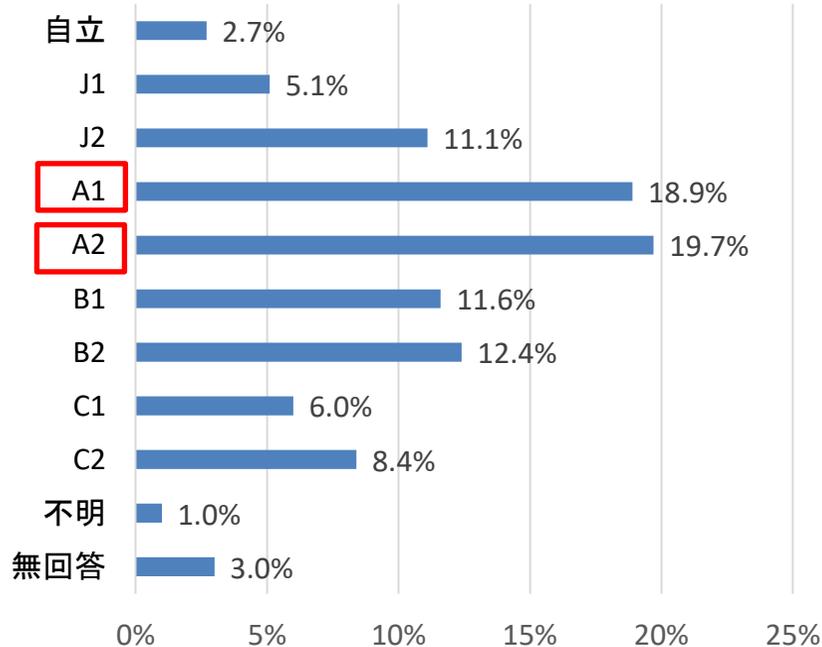
訪問看護におけるリハビリテーションの実施状況

- 訪問看護においてリハビリテーションを受けている利用者の介護度は「要介護2」が22.2%で最も多く、次いで「要介護5」が16.2%であった。
- 訪問看護においてリハビリテーションを受けている利用者の障害高齢者の日常生活自立度は「A2(外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている)」が最多で19.7%、次いで「A1(介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する)」が18.9%であった。
- リハビリテーションを受けている利用者の主傷病は、「高血圧」が39.9%、「脳卒中(脳出血、脳梗塞等)」が28.2%である。

■ 訪問看護利用者のうち、訪問看護においてリハビリテーションを受けている利用者の介護度別割合 (n=2,073名)



■ 訪問看護においてリハビリテーションを受けている利用者の障害高齢者の日常生活自立度別割合 (n=2,073名)



■ 訪問看護においてリハビリテーションを実施している利用者の主たる傷病名別割合 (n=2,073名)

